

授業概要

感情とパーソナリティ（人格）についての心理学における研究を紹介する講義である。最初に、心理学における感情研究とパーソナリティ研究の位置づけについて確認する。その上で感情については、感情に関する心理学的理論、感情生起の生理学的基盤、感情の機能と行動、感情の発達について扱う。パーソナリティについては、類型論や特性論といったパーソナリティに関する諸理論、パーソナリティの測定法、パーソナリティと遺伝との関係、パーソナリティの発達について講義する予定である。本科目は公認心理師科目である。

授業計画

第1回	心理学における感情とパーソナリティ
第2回	感情に関する理論、感情と身体
第3回	感情の機能と行動
第4回	感情の発達
第5回	感情と認知
第6回	パーソナリティの研究史
第7回	パーソナリティの諸理論（1）：学習理論
第8回	パーソナリティの諸理論（2）：類型論／特性論
第9回	パーソナリティの諸理論（3）：精神分析理論
第10回	パーソナリティ理解の方法
第11回	パーソナリティと知能
第12回	パーソナリティと遺伝
第13回	パーソナリティの発達
第14回	パーソナリティの一貫性
第15回	まとめ
第16回	テスト

到達目標

- (1) 感情に関する理論、感情喚起のメカニズム、感情と行動との関連について理解する。
- (2) パーソナリティについての理論、パーソナリティの形成過程、パーソナリティの研究方法について理解する。
- (3) 上記、感情とパーソナリティについて理解したことを説明できる。

履修上の注意

授業中は積極的な発言が望まれる。また授業の内容に応じて、小グループでの実験、質問紙調査の体験なども適時行う予定である。

予習・復習

講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考える。

評価方法

リアクションペーパーの内容（20%）、受講態度（10%）、テストの結果（70%）を合わせて、総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。

各回の講義で資料を配布する。また参考文献はその都度紹介する。